

1 計画の目的

令和3年の計画策定以降の社会情勢の変化、地域公共交通を取り巻く課題、市民ニーズの変化等を踏まえ、地域公共交通の現状と課題を「見える化」し、持続可能な地域公共交通ネットワークの実現に向けた取組を推進することを目的として、令和3年策定計画の改訂版となる「東かがわ市地域公共交通計画」を策定します。

2 計画の期間

計画の対象期間は、令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）の5年間とします。

3 計画の位置付け

本計画は、本市の最上位に位置づけられる「東かがわ市基本構想」が掲げる将来像「つながる未来をともに創るまち 東かがわ」の実現に向け、国の方針や本市の基本構想の考え方を踏まえ、市の関連する各種計画や分野と連携しながら策定します。

4 地域公共交通の現状・問題点と課題（その1）

社会情勢の変化からみた現状・問題点

【現状】

- ・高齢者の免許保有率が高い（特に郊外地域）
- ・今後、免許を自主返納する高齢者が増加すると、移動困難者が増大

【問題点（課題の要素）】

- ・移動手段がない
- ・自動車依存の傾向

【課題】

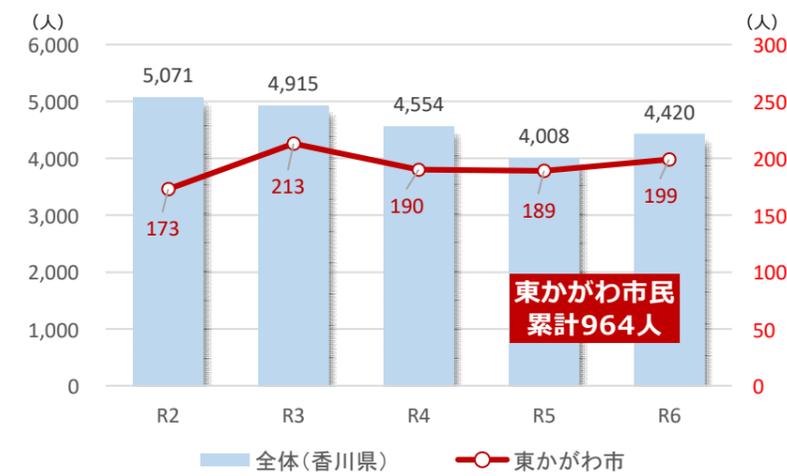
- 交通手段の確保
- 利用意識の醸成

■ 65歳以上の免許非保有者の居住地区



出典：R7市民アンケート調査

■ 免許返納者数の推移



出典：香川県運転免許センター

移動実態からみた現状・問題点

【現状】

- ・自動車による移動に依存
- ・地域公共交通の利用が低迷

【問題点（課題の背景）】

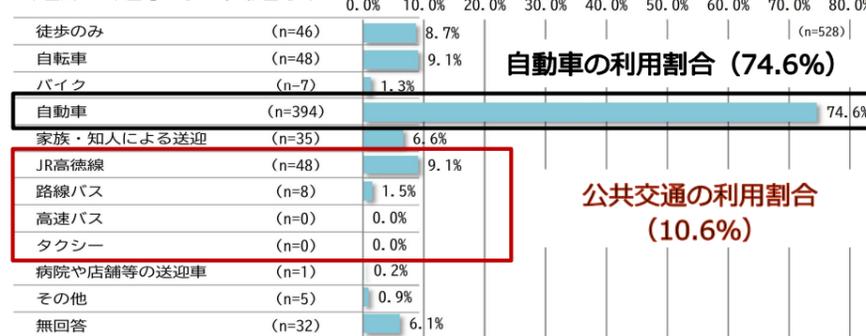
- ・自動車依存の傾向
- ・利用転換の困難性
- ・公共交通の認識不足
- ・公共交通の利用低迷

【課題】

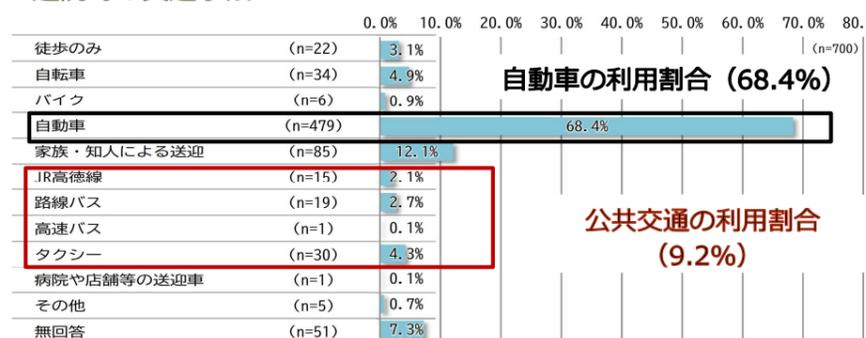
- 利用促進
- 利用意識の醸成
- 関係者、他分野連携

<市民アンケート調査> 令和7年8月に市民の移動実態や地域公共交通に対するニーズを把握するため、市民アンケートを実施（対象：3,000人）

■ 通勤・通学時の交通手段

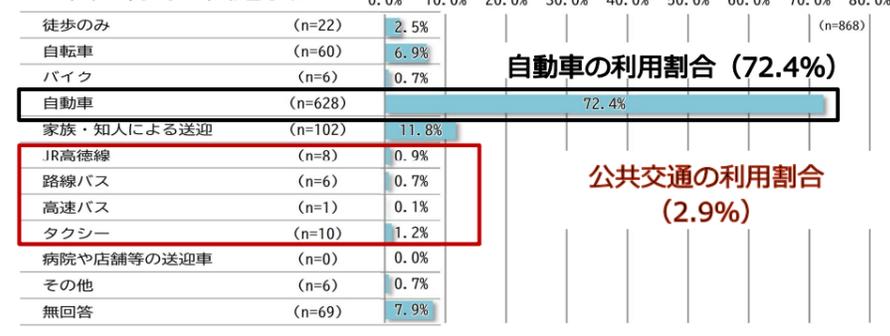


■ 通院時の交通手段

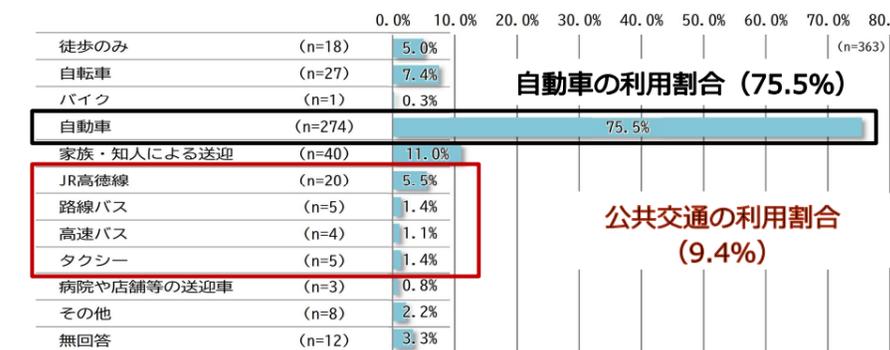


※いずれも複数回答ありのため全体数からみた該当件数で割合表示

■ 買い物時の交通手段



■ 趣味・娯楽・習い事等の交通手段



出典(上記4グラフ)：R7市民アンケート調査

4 地域公共交通の現状・問題点と課題（その2）

市民意識・ニーズからみた現状・問題点

【現状】

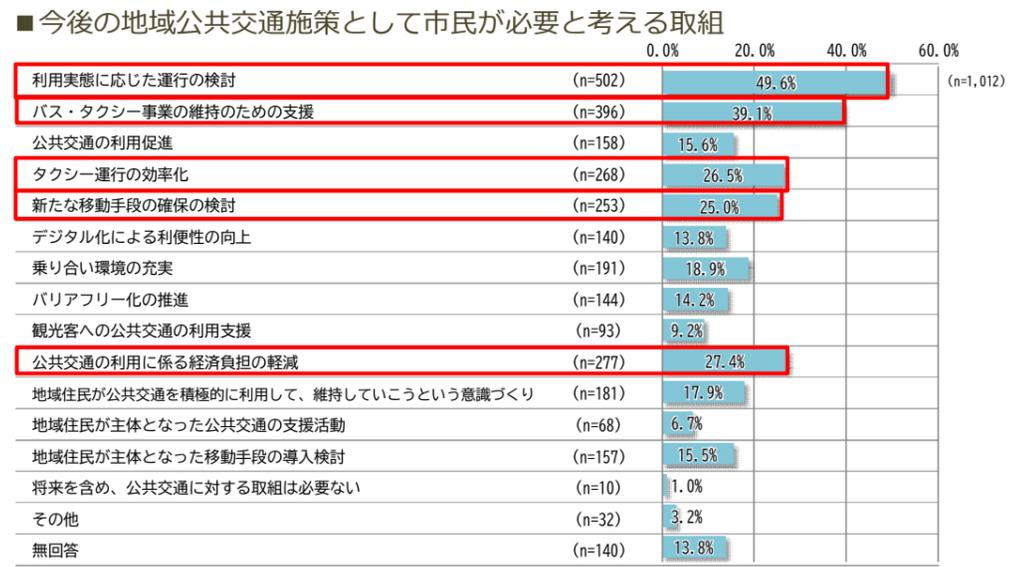
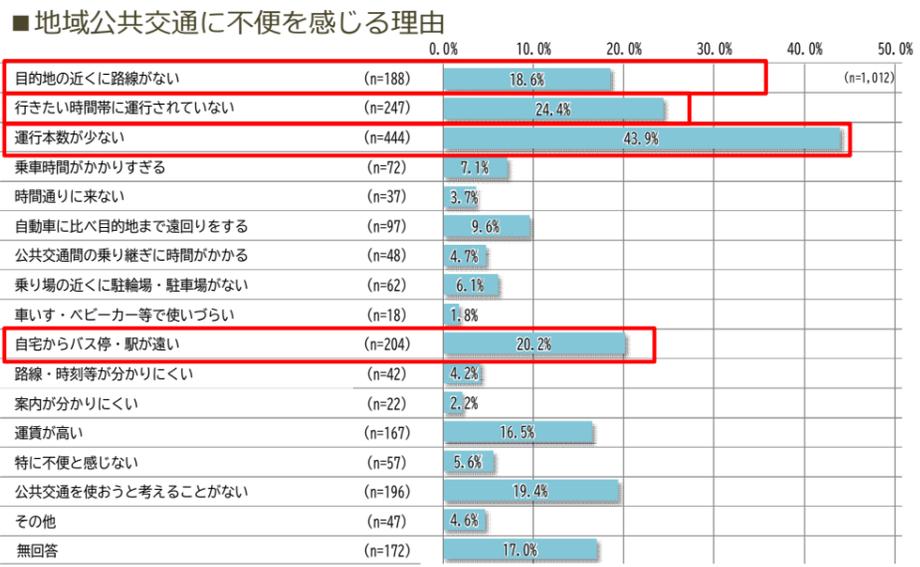
- 地域公共交通の運行本数が少ない
- 自宅や目的地付近に駅やバス停がない
- 移動実態に応じた運行を求める声が多い

【問題点（課題の要素）】

- 利用が不便
- 経費負担が大きい
- 利用転換の困難性
- 公共交通の認識不足

【課題】

- 交通手段の確保
- 利便性向上
- 利用促進
- 利用意識の醸成
- 関係者、他分野連携



出典(上記2グラフ):R7市民アンケート調査

※いずれも複数回答ありのため全体数からみた指摘件数で割合表示

地域公共交通に関する現状・問題点

【現状】

- 公共交通空白地における移動手段が乏しい
- 交通事業者は利用者の減少や担い手の不足により経営状況が悪化している

【問題点（課題の要素）】

- 幹線交通の利用低迷
- 経営悪化
- 運転手や担い手の不足
- 公共交通空白地の存在

【課題】

- 交通手段の確保
- 公共交通事業者の経営改善
- 運行維持の支援（担い手の確保）



出典:国勢調査人口メッシュ(R2)

■ タクシー事業者が抱える課題と解決の困難性

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> 売上減、経費増 物価の高騰等 <p>⇒営業赤字・累積赤字の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①経営改善 ・経営安定化
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の減少 <p>⇒売上の減少</p>	<ul style="list-style-type: none"> ②利用拡大 ・利用促進 ・サービス向上
<ul style="list-style-type: none"> 運転手不足、運転手の高齢化 新規人材の不足 <p>⇒サービスの低下、事業拡大が困難</p>	<ul style="list-style-type: none"> ③担い手の不足 ・人材確保 ・人材育成

出典:事業者ヒアリング調査

経営安定化 + サービス向上・利用促進・担い手確保への取組が必要

タクシー事業者の自助努力のみでは課題解決が困難な状況

現状と問題点からみた課題

4つの視点から挙げられた地域公共交通の現状と問題点を踏まえると、大きく3つの課題に整理されます。

問題点からみた課題の要素

- 運転手・担い手の不足
- 経営悪化
- 幹線交通の利用低迷

課題1: 地域公共交通の維持・確保

- 公共交通事業者の経営改善
- 運行維持の支援

問題点からみた課題の要素

- 移動手段がない
- 公共交通空白地の存在
- 利用が不便
- 経費負担が大きい

課題2: 公共交通空白地への対応

- 交通手段の確保
- 利便性向上

問題点からみた課題の要素

- 自動車依存の傾向
- 地域公共交通の認識不足
- 利用転換の困難性
- 利用促進

課題3: 地域公共交通の利用促進

- 利用促進
- 利用意識の醸成
- 関係者、他分野連携

5 目標を達成するための取組

基本理念、基本方針に基づく3つの計画目標に沿って、地域公共交通を取り巻く課題の解決に向けて、13の取組を進めていきます。

基本理念 地域をつなぎ みんなで支え続ける地域公共交通

基本方針 みんなで支え・共に創る持続可能な地域公共交通ネットワークの構築



目標1 市民や来訪者の移動を支える地域公共交通の維持・存続

取組1 地域公共交通の運行の維持・安定化

○ 国・県・周辺市町と連携した幹線交通の維持・存続

取組2 タクシー事業の経営・運行基盤の強化

○ 経営改善や運行維持、人材確保、利便性向上に向けた取組支援



■チャイルドシートの導入事例
出典：成田/羽田空港ジャンボタクシー



■パート募集の導入事例
出典：志太交通株式会社

目標2 誰もが利用しやすい地域公共交通網と環境の整備

取組3 地域公共交通のモーダルミックス推進

○ 東かがわ市モーダルミックス推進事業の継続、対象者の拡大、鉄道・バス・タクシーを組み合わせた移動を促す研究・検討

取組4 二次交通の整備

○ JR三本松駅・JR讃岐白鳥駅・JR引田駅におけるパーソナルモビリティ(シティサイクル等)の導入可能性の検討

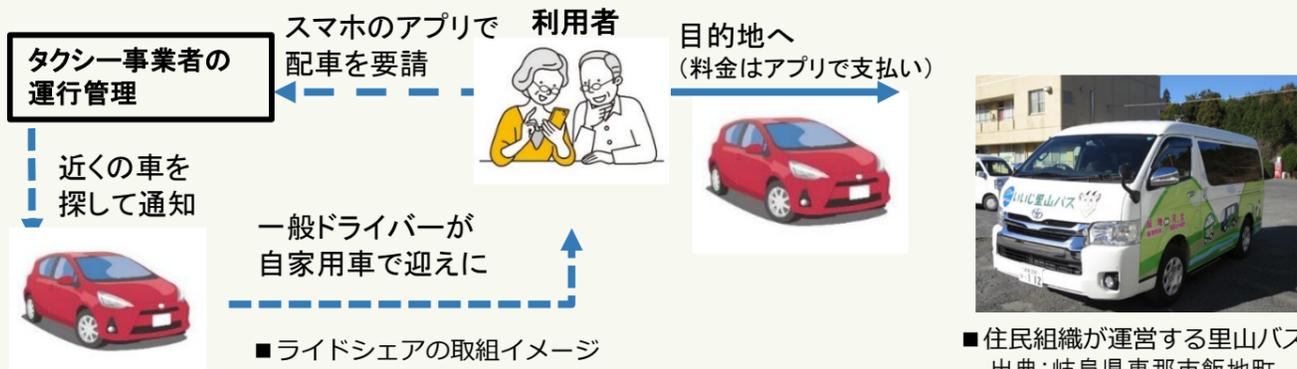
取組5 利用環境の充実

○ 鉄道やバスへの円滑な乗り継ぎにつながる情報発信の充実
○ 交通結節点等における待合環境の改善

取組6 公共交通空白地における移動手手段の確保

○ 「ライドシェア」の導入可能性、住民主体の移動手手段の確保・検討
○ タクシーチケット事業の継続による、公共交通空白地に居住する免許返納者等の移動支援

■乗り継ぎ時刻表 (作成・提示)
出典：熊本県美里町美里バス



■住民組織が運営する里山バス
出典：岐阜県恵那市飯地町

取組7 住民共助による地域交通づくり

○ 関連制度や先行事例に関する理解を深める勉強会等の開催、話し合いの機会の創出
○ 地域主体による効率的な移動手手段の確保、持続可能な地域交通の仕組みづくりの検討・推進

取組8 DXの推進・新たなモビリティの活用による利便性向上

○ DXの推進や新たなモビリティサービスの導入に向けた検討

取組9 多言語・ユニバーサルデザインによる案内環境の整備、充実

○ 多言語表示やユニバーサルデザインの導入による誰もが利用しやすい案内環境の整備



■多言語・ユニバーサルデザイン事例
出典：東京都産業労働局、国土交通省

目標3 地域公共交通を活用する意識の醸成と関係者間の連携強化

取組10 地域公共交通の認知向上と普及啓発の推進

○ QR配車やアプリ、免許返納特典など、既存の取組に関する運行情報・PR情報の発信・強化

取組11 地域公共交通の利用促進と意識づくり

○ 学生・高齢者を対象とした乗り方教室・乗車体験等による地域公共交通利用のきっかけづくり(情報共有、高齢者サロンの活用等、体験機会の創出)
○ 鉄道・バス・タクシーとの連携企画による利用促進、メリットを認識・体験できる情報発信



■バスの乗り方教室 出典：大川バス



■広報誌を活用したPRの事例 出典：鳥取県

取組12 地域公共交通と他分野・広域連携の推進

○ 他分野と地域公共交通の連携による利用促進、観光客の市内周遊を促進する企画の検討



■観光分野との連携イメージ

出典：東かがわ市デジタル観光マップ(プラチナマップ)



■観光協会が組む周遊企画とタクシーの連携
出典：琴平バス株式会社

取組13 地域公共交通の連携強化・情報共有の推進

○ 東かがわ市地域公共交通活性化協議会を活用した関係者間の連携体制の強化

5 達成状況を評価するための目標指標（KPI）

基本方針 みんなで支え・共に創る持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

■達成状況を評価するための指標（全体目標）

全体目標① - 市内駅における鉄道乗降者数

現状：684,010人/年（R6.4～R7.3） > 目標：現状より改善（R12年度）

〈目標値の考え方〉

- 交通体系全体の利用促進と利便性向上に取り組むことで、鉄道の乗降者数の増加を図り、市民の移動を支える鉄道運行の確保を目指します。

※当該年4月1日～翌年3月31日の実績値を計上

全体目標② - 市内拠点における路線バス乗降者数

現状：59,632人/年（R6.10～R7.9） > 目標：現状より改善（R12年度）

〈目標値の考え方〉

- 路線バスの利用促進、利便性の向上に取り組むことで、乗降客数の増加を目指します。

※前年10月1日～翌年9月30日の実績値を計上

目標1 市民や来訪者の移動を支える公共交通の維持・存続

■達成状況を評価するための指標（目標指標）

目標値③ - 市内路線バスの収支差

現状：▲6,037万円（R6.10～R7.9） > 目標：現状より改善（R12年度）

〈目標値の考え方〉

- 国・県・周辺市町との連携による支援を通じた収支改善によって、地域公共交通の骨格を担う路線バスの運行維持・存続を図ります。

※前年10月1日～翌年9月30日の実績値を計上

目標値④ - タクシー運転手の確保人数

現状：20人（R7.12月末時点） > 目標：30人（R12年度）

〈目標値の考え方〉

- 地域住民の生活交通を担うタクシーは、本市にとって欠かせない移動手段ですが、運転手不足や自動車依存による利用者減少を背景に経営状況が悪化し、事業継続が困難な状況にあります。このため、タクシー事業者の担い手確保を支援し、経営の安定化と事業の持続を目指します。

※当該年12月末時点の確保人数を計上

目標2 誰もが利用しやすい地域公共交通網と環境の整備

■達成状況を評価するための指標（目標指標）

目標値⑤ - 新規に移動手段の確保について検討・確保した件数

現状：－ > 目標：3件以上（R12年度）

〈目標値の考え方〉

- 公共交通空白地の解消に向け、新たな仕組みや地域の人的資源を活用した移動手段を検討し、本市の移動ニーズ等に応じた多様な移動手段の確保を目指します。

※毎年度3月末時点での取組件数を計上

目標3 地域公共交通を活用する意識の醸成と関係者間の連携強化

■達成状況を評価するための指標（目標指標）

目標値⑥ - 新たな手法による情報発信の取組件数

現状：－ > 目標：5件以上（R12年度）

〈目標値の考え方〉

- 市内の地域公共交通の運行情報や制度に関する情報発信を強化するとともに、モビリティマネジメントを実施することで、自動車依存を低減し、地域公共交通への利用転換を目指します。

※毎年度3月末時点の取組件数を計上

目標値⑦ - 他の分野と連携した利用促進事業の取組件数

現状：－ > 目標：3件以上（R12年度）

〈目標値の考え方〉

- 交通以外の分野（商業施設・観光・福祉等）とも連携を深め、地域公共交通を取り巻く多様な関係者と協力して利用機会の創出に取り組み、市民を含めた地域全体でつくり、守り、育てる地域公共交通サービスの実現を目指します。

※毎年度3月末時点の取組件数を計上

目標値⑧ - 地域公共交通の利用促進に向けた新たな啓発活動の実施回数

現状：－ > 目標：5回以上（R12年度）

〈目標値の考え方〉

- 今後、地域公共交通の利用が期待される学生、高齢者を対象に乗り方教室や乗車体験を実施し、地域公共交通に触れる機会を創出します。また、普段、自動車を利用している市民にも利便性を理解してもらうことで、地域公共交通の利用定着を目指します。

※毎年度3月末時点の取組件数を計上